

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	臨床工学技士の倫理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	澤田 正二 瓦林 孝樹	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として28年病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。(澤田)			
《授業科目における学習内容》						
本講義では、医療倫理、臨床工学技士の理念、医療のケアサービス、地域医療、経営、業務運営、資格の基本を学ぶ。臨床実習や、社会に出た際の常識力、対応力の習得を目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト・レポート評価:70% 出席評価:20% 課題提出状況や小テスト実施結果などによる平常評価:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床実習が楽しくなる本 改訂2版 (丸善出版)						
《授業外における学習方法》						
課題に取り組み、授業内容に係わる小テストを実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床工学技士として、必要な倫理観を構築するために、関連する多くの項目について講義する。幅広い視野で柔軟性をもって積極的に議論するよう授業に臨み、臨床実習や資格取得後の臨床業務に向けて、より深い理解と活用に繋げて頂きたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	医療倫理四原則①自己決定の尊重(Autonomy) ②善行(Beneficence)③無危害(Non-maleficence) ④公正(Justice)を説明できるようになる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	医療倫理の原則を説明する。			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	施設によって様々な理念があることを知り、臨床工学技士の業務を説明できるようになる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	臨床工学技士の業務、理念について説明する。			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	ケア・サービスの種類と目的を説明できるようになる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	各種医療のケア・サービスについて説明する。			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	地域医療と医療経営の成り立ちを説明できるようになる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	地域医療と経営戦略について説明する。			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	臨床工学技士の業務運営を知り効率化を提案できるようになる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	業務運営の効率化について説明する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	臨床工学技士国家資格は勿論、専門臨床工学技士、認定臨床工学技士の成り立ちと各学会認定資格について説明できる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。
	各コマにおける授業予定	業務に関連する認定資格について説明する。		
第7回	授業を通じての到達目標	病院経営と収支の基本を知り、改善のモデルを考え説明できる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。
	各コマにおける授業予定	経営経営改善のモデルを説明する。		
第8回	授業を通じての到達目標	臨床工学技士と病院の将来について説明できる。	教科書 配布資料	授業時に示す課題を用いて、復習しておく。
	各コマにおける授業予定	臨床工学技士と病院の将来について討議する。		